

2日間で基本的な用語や考え方から、日本版HTAの仕組み、企業における取組など、

日本版HTAにおいて企業が検討すべきテーマを解説！

# 費用対効果評価(日本版HTA)の基礎と実践【LIVE配信】

- ◆日時: 2020年10月27日(火)、28日(水)[両日とも]15:00~16:30
- ◆会場: 自宅や職場など世界中どこでも受講可
- ◆聴講料: ~~《2日間受講》1名につき49,500円(税込、資料付)~~  
~~《1日のみ受講》1名につき36,300円(税込、資料付)~~  
**⇒2日間受講: 1名につき33,000円(税込、資料付き)**  
 2名以上同時申込みの場合は1名につき22,000円(税込)  
**⇒1日のみ受講: 1名につき22,000円(税込、資料付き)**  
 2名以上同時申込みの場合は1名につき15,950円(税込)  
 ※2名同時申込で「1日のみ受講」の場合、2名様とも同じ日程のご受講となります。

## 講師からの紹介割引について

本パンフレットは講師用のパンフレットです。このパンフレットでセミナーをお申込みいただくと、講師からのご紹介により左記のとおり受講料が割引になります。なお他の割引との併用はできません。

## ●講師: クレコンメディカルアセスメント(株)取締役最高業務責任者(COO) 工学修士、医学博士 小林 慎 氏

【ご専門】 薬剤経済学、医療経済学、統計解析

【ご略歴】 国際医薬経済・アウトカム研究会(ISPOR)日本部会 理事・事務局長 DPCマネジメント研究会 理事 東海病院管理学研究会世話人  
 日本経済大学大学院ファーマシー・マネジメント研究所 特任教授 多摩大学医療・介護ソリューション研究所 シニアフェロー

2019年4月から、いよいよ医薬品や医療機器に対する費用対効果評価(日本版HTA)が本格導入されました。高価格獲得を目指す製薬・医療機器企業にとって、今後、費用対効果評価の知識は必須のものとなります。しかし費用対効果評価はこれまで製薬・医療機器業界がなじんできた臨床エビデンスとは全く異なる手法や考え方が含まれており、「最初の一步」を踏み出すためには様々な基本知識が必要となります。

また、日本版HTAは単なるサイエンスではなく、企業にとっては行政サイドとの交渉ツールとしての側面もあります。サイエンスとしての厳格さを維持しながら、自社製品の価値を主張するためには、学問的な知識だけでなく、制度の本質的な理解と実務的な発想が必要になります。

本講演では、費用対効果評価の基本的な用語や考え方から、日本版HTAの仕組み、企業における取組の方向性・課題・解決のアプローチなど、日本版HTAにおいて企業が検討すべきテーマを幅広く網羅します。

<b>1日目:「費用対効果評価(日本版HTA)の基礎」</b>	10月27日 15:00~16:30	<b>2日目:「費用対効果評価(日本版HTA)の実践」</b>	10月28日 15:00~16:30
---------------------------------	-----------------------	---------------------------------	-----------------------

### 1. イントロダクション～なぜ費用対効果評価が必要なのか

#### 2. 費用対効果評価の必須知識

- (1) QALY～費用対効果評価における効果指標
- (2) ICERと閾値～費用対効果を測るモノサシ
- (3) モデルシミュレーションによる患者の長期予後予測  
～話題提供として新型コロナウイルスの  
感染拡大シミュレーションも扱います～
- (4) 感度分析～不確実性を考慮した費用対効果の判断

### 2. 日本版HTAの概要

- |             |                 |
|-------------|-----------------|
| (1) 導入までの経緯 | (2) 選定基準        |
| (3) 価格調整方法  | (4) 選定から評価までの流れ |

### 3. 分析ガイドライン

- |                |                  |
|----------------|------------------|
| (1) 各項目の基本的考え方 | (2) 実務における重要ポイント |
|----------------|------------------|

### 4. 日本版HTAに向けた取組のポイント

- |                      |         |
|----------------------|---------|
| (1) 日本版HTAの最重要ポイントは? | (3) その他 |
| (2) 分析前協議の重要性        |         |

#### 【LIVE配信セミナーとは?】

- ・本セミナーは「Webex」を使ったライブ配信セミナーとなります。「Cisco Webex Meetings」をダウンロードするか、Web ブラウザから参加するかの2種類がございます。
- ・こちら(<https://www.webex.com/ja/test-meeting.html>)よりWebexのオンライン ミーティングのテストができます。必ずお申し込み前に動作確認をお願いします。
- ・Webex テストミーティングの進め方(<https://help.webex.com/ja-jp/nti2f6w/Webex-Meetings-Join-a-Test-Meeting>)
- ・お申込み後、受理のご連絡メールをさせていただきます。一部メールが通常セミナー形式(受講券、請求書、会場の地図)になっておりますがLIVE配信のみのセミナーです。
- ・後日、別途視聴用のURLをメールにてご連絡申し上げます。 ・セミナー開催日時の10分前に、視聴サイトにログインしていただき、ご視聴ください。
- ・セミナーテキストは前日までに郵送またはデータで、お送りいたします。 ・タブレットやスマートフォンでも視聴できます。
- ・ご質問については、オープンにできるご質問をチャットにご記入ください。個別相談(他社に知られたくない)のご質問は後日メールにて講師と直接お願いします。
- ・講義の録音、録画などの行為や、テキスト資料、講演データの権利者の許可なく複製、転用、販売などの二次利用することを固く禁じます。

## (講師紹介割引)『費用対効果【WEBセミナー】』セミナー申込書

※□にはチェックをお願いします 費用対効果(2日間受講) 1日目(27日)のみ受講 2日目(28日)のみ受講

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

#### ● セミナーの受講申し込みについて ●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたします。受講用URLは後日お送りいたします。セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。  
 ⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>  
 個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。  
 ⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

Eメール 郵送



株式会社 R & D 支援センター

〒135-0016 東京都江東区東陽3-23-24 VORT東陽町ビル7階  
 TEL) 03-5857-4811 FAX) 03-5857-4812 URL) <https://www.rdsc.co.jp/>